辻を流れる唄、踊り 編笠ゆれる風の盆! 全6コース

越中八尾おわら風の盆

八尾の町が最もにぎわい、輝き増す秋。
9月1日から三日三晩にわたって繰り広げられるおわら風の盆は
優美な踊り、胡弓(こきゅう)や三味線の哀愁を帯びた旋律
情感豊かな歌声が小さな坂の町を彩り全国から訪れる人たちを
魅了します。台風シーズンの風神鎮魂を願う「風の盆」という
祭りになったと言われています。

※悪天候の場合「風の盆」は中止となる場合もあります。 中止の場合でも八尾町内散策はいたします。

おわら風の盆(イメージ)

輪踊り

輪踊りは、地方(じかた)を中心にして踊り手たちが輪を作って踊ります。各町の公民館前、町の辻々などで踊りますが、観光客も輪に入り踊ることができる場合もあります。

町流し

地方(じかた)の演奏とともに各町の踊り手たちがおわらを踊りながら町内を練り歩くものです。この町流しが、古来からのおわらの姿を伝えるものとされています。

中部

おわら風の盆 Aプラン

祭りの最終日を愉しむ 徹夜の「おわら風の盆」観賞・山中温泉

ツアーコード/JB3177Y　祭り　3日間

出発日 **9月3日(月)**

■旅行代金(大人おひとり様)

3名様1室	2名様1室	1名様1室
112,800円	115,800円	119,800円

■添乗員同行(全行程)　■食事/2朝食・1昼食・2夕食付
■募集人員/40名様(最少催行人員/15名様)　■利用バス会社:北陸交通

日程	行程	食事
1	新千歳空港10:00～16:00発----✈----(羽田空港乗り継ぎまたは直行便)----✈----小松空港====金沢市内15:00～20:00頃【泊】 ホテル/午前0:00頃========(観光タクシー)==========八尾町 おわら風の盆 観賞(未明の午前1:00～午前3:00頃まで)======(観光タクシー)========ホテル/早朝4:00頃 ※深夜～朝にかけては観光客が少なく、地元の「おわら」の雰囲気をお愉しみいただけます。	× × 夕
2	金沢市内12:30頃==========●那谷寺(なたでら)(庭園観賞)〈45分〉=====山中温泉●無限庵(むげんあん)(加賀藩の武家書院造りの建物・尾形光琳の扇・加賀蒔絵・古九谷ほか千利休ゆかりの茶道具展示)〈45分〉==========山中温泉18:00頃【泊】	朝 × 夕
3	山中温泉9:00頃===○東尋坊(とうじんぼう)(鋭い岩肌の断崖絶壁の景勝地)〈30分〉==●曹洞宗大本山・永平寺〈90分〉===○九谷満月〈30分〉===富山空港または小松空港または中国国際空港----✈----(羽田乗り継ぎまたは直行便)----✈----新千歳空港17:00～22:00着	朝 昼 ×

ご宿泊ホテル

1日目/金沢市内:金沢ニューグランドホテル　洋室利用(バス・トイレ付)
2日目/山中温泉:小ロイヤルホテル河鹿荘　洋室(バス・トイレ付)
※4月1日付で「河鹿荘ロイヤルホテル」よりホテル名称が変わります。

旅のポイント
「おわら風の盆」は相乗りの観光タクシーにて深夜から未明のご見学となります。深夜は観光客が少なく、地元の方たちによる「おわら」の雰囲気をお愉しみください。

山中温泉

山中温泉の歴史は古く、今から1300年前に奈良時代に発見したと伝えられ、丸太に祠を造り、温泉のお守りとしました多くの人が山中を訪ね、その湯で病と疲れを癒したとされます。平安末期一羽の白鷺が傷めた足を山陰の小さな流れで癒しているのを見つけ、そこを掘ると5寸ばかりの薬師如来像が現れ、美しい温泉が湧き出しました。ここに12軒の湯宿を開き、それが山中温泉旅館の始まりと語り継がれています。

山中温泉河鹿荘ロイヤルホテル露天風呂

永平寺

永平寺

永平寺は、今から約770年前の寛元二年(1244)、道元禅師によって開創されたお寺です。大小70余りの建物があり、150名もの修行僧が日夜修行に励んでいます。老杉に囲まれた静寂なたたずまいは、修行道場にふさわしい霊域です。